

日本海国土軸の形成に資する北陸新幹線等の整備について

【担当省庁】国土交通省

北陸新幹線（敦賀・新大阪間）等の整備推進のため、以下について要望する。

- 北陸新幹線の整備にあたっては、府民の理解と納得や関係市町の協力を得ることが不可欠であり、地下水をはじめとする様々な施工上の課題等について、十分な時間を確保した上で適切な対応をしていただきたい。
- 建設費の地方負担については、コスト縮減、貸付料の見直し、十分な財源の確保などにより地方負担を最小化し、これまでの制度に囚われず、地方負担制度の見直しなどにより受益に応じた負担としていただきたい。
- 整備効果をより拡大するため、関西文化学術研究都市とのアクセス路線となる JR 片町線（松井山手～木津）の複線化等、速達性の向上が実現するよう協力していただきたい。
- 日本海国土軸形成に資する舞鶴を経て日本海に至る山陰新幹線を含めた北部地域の広域幹線鉄道のあり方検討

【現状・課題等】

- 国土の総合的な発展を目指し、東京一極集中に歯止めをかけ、近畿・西日本の経済の活性化を図るためには、敦賀・大阪間の早期整備が必要であり、その実現には、安定的な財源の確保が必要
- 昨年 12 月 23 日の与党 PT 整備委員会において、「北陸新幹線（敦賀・新大阪）の取扱いに関する中間報告」が取りまとめられ、京都市内の駅位置ルートについては、「南北案、桂川案のいずれかとすることが適切である」とされた。
- 本年 7 月には、与党 PT 整備委員長がルートを再検証する方針を示されたが、いずれにしても、北陸新幹線の整備にあたっては、京都府民の理解と納得や、関係市町の協力を得ることが不可欠であり、地下水をはじめとする様々な施工上の課題等について、十分な時間を確保した上で、検討が必要
- 建設費の地方負担については、既に東海道新幹線が通っている京都の立場としては、新幹線が初めて通る場所とは異なることから、これまでの制度に関わらず、地方負担の制度を見直すなどの措置により、受益に応じた負担とする必要がある。

京 都 府 の担当課	建設交通部 交通政策課(075-414-4359)
---------------	---------------------------

【国の事業等】

■概算要求〔国土交通省〕

- ▶整備新幹線整備事業 804 億円（令和7年度予算 804 億円）
- ▶整備新幹線建設推進高度化等事業（北陸新幹線事業推進調査含む） 19 億円
（令和7年度予算 16 億円）
- ▶北陸新幹線敦賀・新大阪間の着工に必要な経費の事項要求

■北陸新幹線の現状計画図



■JR 片町線の現状



複線化・快速運行の場合
松井山手～木津
28分 ⇒ 17分